

言語障害のある人・聴覚障害のある人の困り事

No.	障害種別	場面	日常生活や社会生活での困り事	どう対応している／ どういった配慮が必要
1	言語障害	買い物	最近では買い物など支払いが機械化されている所が多いので、買い物をあまりしないようになっている。（使い方を聞けない）	店員によるサポートがあると良い。
2	言語障害	医療・福祉	医師へ状況説明をする時に、適切に早く説明ができない。	早く説明ができないので、妻に説明してもらう。
3	言語障害	飲食店	混んだ飲食店では、注文や質問の時に声が届かないため、つい黙り込んでしまう。	店員と目が合った時に、挙手してコンタクトをとった。
4	聴覚障害	労働・雇用	仕事をしているが、お客様からの質問が分からない。同僚との会話も分からない（マスクをしているので）	お客様からの質問は責任者を呼んで対応している。同僚はメモを書いてくれる時もある。
5	聴覚障害	買い物	レジで声を掛けられるが（カードとか袋とか）、マスクをしているので口話が分からない。	全て自分で用意してから、聞かれたら「いいえ」と答えている。
6	聴覚障害	買い物	スーパーのレジで店員がマスクをしていたら、話しかけられたのも分からない時がある。（「袋ありますか？」「お箸要りますか？」など）	家族が一緒の時は家族が教えてくれた。一人の時は、自分が聞こえないことを言わないといけない。カードを指さしできるものがあれば良いと思う。
7	聴覚障害	買い物	飲み物を買う時にいろいろなメニューがあり、頼み方が分からない。	店員が、「指さしシート」を持ってきて、スムーズに注文できた。他の店舗にも「指さしシート」や、各々の店で工夫して「〇〇シート」があると良い。
8	聴覚障害	医療・福祉	歯医者に通院しているが、医療関係者は全てマスクをしているので、口話が分からない。いつも耳元で囁くので分からない。	いつも「はい」と答えている。
9	聴覚障害	医療・福祉	病院で自分が呼ばれていても気付かないことがあり困る。受付の方がマスクをしているため、口の動きが分からない。	病院のスタッフが呼びに来てくれた。
10	聴覚障害	医療・福祉	看護師による問診で、補聴器を指さして、聞こえが悪く「紙に書いて（筆記）下さい」と言っても、耳元で大きな声で話してくる。	よく説明したらわかってくれた。受付から診察室の看護師へ渡すカルテに難聴者と分かる札みたい（又はシール）な物を挟んでくれれば良いと思う。
11	聴覚障害	医療・福祉	病院の診察時、筆談対応してくれる医師とそうでない医師があり、病気の際は本当に困る。	筆談やパソコンを使って説明してくれる医師はとても助かる。会話が出来なかった時は、後でナースに必至で教えてもらうこともある。
12	聴覚障害	医療・福祉	病院の受付で名前を呼ばれたが、気付かなかった。	受付に行き「自分の順番は」と聞いた。聴覚障害であることを伝えると、近くまで来て教えてくれる。
13	聴覚障害	医療・福祉	病院の受付に保険証を出して名前を呼ばれる時、いつ呼ばれるかと受付の人の口元を一生懸命見ている自分がある。	区役所のような掲示板があればと思う。
14	聴覚障害	その他	歩行中の自転車の横切りが危険。	とにかく自分が注意して歩く。
15	聴覚障害	その他	出産のとき「耳が聞こえて良かったね」と言われて不快になった。	聞こえて良かったかどうかは、その人の価値観で異なる。